

平成 31 年 4 月 30 日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 湯浅 博



記

事業の名称	防犯カメラ新規設置事業
事業実施前の状況	一部死角になっていたところ、及び、犯罪者の逃走経路抜けモレが有り。
事業実施後の状況	少しずつではあるが、犯罪者の逃走経路の減少及び、設置していると言うだけで、犯罪件数の減少、並びに犯罪者の早期逮捕につながる情報が集まりやすくなった。
事業の効果	設置個所が増えたことによる抑止効果ありと判断します。
今後の課題等	各家庭の防犯装置の充実（援助）及び関西電力の電柱を活用した防犯設備の設置等、見張り役の増やし方の検討が必要である。又、高層ビル屋上への設置/車載カメラ等も今後の検討課題とする。

平成 31 年 4 月 30 日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 湯浅 博



記

事業の名称	防犯カメラ維持管理事業
事業実施前の状況	一部死角になっていたところ、及び、犯罪者の逃走経路抜けモレが有り。
事業実施後の状況	設置個所も増え、安全で安心な暮らしが出来る。又、第三の目（者）による期間中（夏休み/大型連休）の見守りが可能となる。
事業の効果	設置個所が増えたことによる抑止効果ありと判断します。
今後の課題等	リースのような、安価な設投で、管理費の低減。各家庭への援助/企業の電柱中活用等の検討が必要。又、高層ビルの屋上への設置/車載カメラ等も今後の検討課題とする。

2019年 3月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
 会長名 湯浅 博



記

事業の名称	地域内会館備品整備会事業
事業実施前の状況	地域内会館で利用者が多い井口堂北会館の会議室の長机、椅子、スリッパを買換えたい。 長机、椅子は、古くて重く、色合いも暗く、机と椅子の高さ乖離や配置、格納等に利便性を図りたい。
事業実施後の状況	長机は表面は白く、椅子は明るい色合いで軽く、利用者からも好評である。
事業の効果	長机、椅子とも軽く、利用する高齢者も出し入れがスムーズに出来ている。
今後の課題	机、椅子の数量が未だ不足している。スリッパも古く、汚れが目立ち利用者からも買換え要望が多く寄せられている。 現下駄箱も薄汚く、作り替え若しくは大清掃が必要。

以上

平成31年 4月 30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

~~代表者名~~ 湯浅 博



記

事業の名称	地域掲示板設置事業
事業実施前の状況	掲示板が老朽化して見難くなり、石橋コミュニティとともに地域団体等の情報提供が十分に行き届かないことがあった。
事業実施後の状況	見やすい明るい新しい掲示板が設置されたことによって、石橋コミュニティとともに地域団体等の情報提供が十分に行き届くことになった。
事業の効果	見やすい明るい新しい掲示板を通して地域に必要な情報、地域の行事、石橋地域コミュニティや地域団体等の活動内容等、を広く伝達することが出来た。
今後の課題等	地域の年間イベントの繰返しのお知らせが多い。そのため話題性のある催しものを取上げたり、自然災害時の対応、地域安全、等の地域に関連する幅広い事柄も掲示していきたい。

平成31年4月30日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 湯浅 博



記

事業の名称	AED管理事業
事業実施前の状況	期限切れ、及び、バッテリーへの不安あり。…撤去へ方向転換
事業実施後の状況	いざという時に、心臓マッサージが出来るか？
事業の効果	他地域の状況、市との協力体制等情報収集しながら、どのようにするか要検討。不明？
今後の課題等	幸いにも、殆ど出番がなく、使用方法がわかる経験者（訓練実施者）が減りつつある中、AEDに替わる一番有効な心臓マッサージ方の訓練回数を増やす及び、訓練が簡単にいつでも出来る機材の設置検討、ならびに研修/講習会を頻繁に開催するよう検討する。

平成31年4月30日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 湯浅 博



記

事業の名称	街路灯強化事業
事業実施前の状況	いつ壊れるか不安であり、定期点検/交換を実施することにより、安心を買う。
事業実施後の状況	壊れる前に、事前点検交換を実施し、正常な状態をキープしている。
事業の効果	死角の減少により、夜間の事故や犯罪を未然に防ぐことが可能
今後の課題等	センサー機能付き及び、ソーラー電源に変更することによる、消費電力抑制及び必要時の明るさ確保、又、今後の自然災害に備えた設備への移行を検討要。

平成31年4月30日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 湯浅 博



記

事業の名称	道路安全対策事業
事業実施前の状況	いつ事故が起こるか不安であった。
事業実施後の状況	見通しが良くなり、歩行者が安心して通行可能。
事業の効果	歩行者の安全確保ができ、見通しの悪い交差点減少。
今後の課題等	車両等のスピードを抑制し、歩行者の安全を確保する為に、各種センサーカメラタイプ他を採用し、交通事故等を未然（最小限）に防ぐ手段の検討が急務である。

様式第4号

2019年 3月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
会長名 湯浅 博



記

事業の名称	市民レクリエーション大会事業（市民運動会）
事業実施前の状況	当事業も地域住民も市民運動会として毎年10月第2日曜日に開催されることが浸透しているがさらに幅広く参加を呼びかけたい。
事業実施後の状況	今年度は、天候の関係で近隣の幼稚園と同日開催となったが参加人数は例年と変わらず大盛況で大きな事故もなく終えることが出来た。
事業の効果	石橋校区スポーツ振興会を中心に各団体間の連携がスムーズになり、協働する参加者が年々増加し、各人間の繋がりも太くなった。
今後の課題	今年度、1種目新たなプログラムに変え新鮮さを図り、より参加意欲を盛り上がった。 スポーツ推進委員の存在、活用方法をより以上図る必要がある。

以上

平成31年4月30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 湯浅 博



記

事業の名称	地域コミュニティ紙等発行事業
事業実施前の状況	コミュニティの各部会が行う事業内容を住民にPRすることでコミュニティの存在と役割を知ってもらう為に行う事業。
事業実施後の状況	年間2回の発行、旭丘、井口堂と石橋地域がお互いの地域コミュニティの活動内容と地域性を認識できた。また自然災害が頻発したことから災害対応（A3避難場所地図、等）や進展するネットワーク対応の記事で、地域の現状、コミュニティ推進協議会の事業及び活動内容等を広く伝達できた。
事業の効果	紙面を通して地域に必要なニュース、学校と地域のつながり、地域の行事等又「特殊詐欺」に引っかからない等、PR出来た。地域の現状、コミュニティ推進協議会の事業及び活動内容等の伝達とともに、石橋地域コミュニティホームページの活用で石橋地域の情報発信は進展した。
今後の課題等	地域コミュニティの中の事業には継続型が多い、紙面が報告の記事ばかりになる。そのため話題性のあるものとして自然災害時の対応、敬老の里プロジェクト、我が事丸ごと、等の地域の関連記事も扱いたい。

平成31年 3月3日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名

湯浅

博



記

事業の名称	避難行動要支援者対策事業 ①
事業の実施前の状況	既存の地区委員や団体会員による 身近な高齢者等要支援者への声掛けやフォローを行っていた
事業実施後の状況	池田市危機管理課に提供された避難行動要支援者情報提供に同意された方687名（平成29年6月20日現在）の方に対し年3回の訪問し、安否確認を行ない現状などを話してもらった
事業の効果	訪問を重ねる間に所在不明の方の現況が判明したり、初めは訪問した確認員に疑問や不安を感じられた方も回数を重ねるごとに今までわからなかったことや、不安に思っていることなどを話され、自治会組織の薄れた地域で生活している要支援者の安心につながった
今後の課題等	地域の要支援者はこれからも増加することが予測され、それに対応するための確認員の人数も確保していかなければならない。確認員の名札所持しているにも関わらず、不審者と思われたりもあり大変な事業でもある。そのためにも市でも事業の活動を広報してもらおう等、協力しながら地区の要支援者を見守り、災害時には少しでも地域住民の情報が即時にわかるようにしていきたい

平成31年 3月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 湯浅 博



記

事業の名称	避難行動要支援者対策事業 ②
事業の実施前の状況	訪問して 事業の内容や所属等を説明するのに時間を要した
事業実施後の状況	一目で確認委員とわかるように写真付きの確認証とベストとバッグを所持したことで、安心して対応してもらえた。
事業の効果	回を重ねるごとに、要支援者の方に訪問を喜んでもらった。
今後の課題等	たくさんの資料や筆記用具をバッグに入れて行動するが、バッグの中身がバラバラになり訪問先やその途中での整理に時間がかかるため、バッグを整理できるようなものを考えたい。

平成31年4月30日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 湯浅 博



記

事業の名称	地域防災体制強化事業（避難訓練/防災備品整備）
事業実施前の状況	緊急時に誰が何をすべきなのか不明確であった。
事業実施後の状況	組織網の整備及び、緊急時の対応（訓練ではあるが）が出来た。
事業の効果	地域住民及び学校等の協力の基、連携をしながら訓練も出来た。 今回は特に学校のご協力に感謝いたします。 参加者各自の経験となり記憶の片隅にでも残れば、いざという時の助けになると期待する。
今後の課題等	各種の災害及び時間帯に即対応が出来るか、訓練内容（夜間含め）を変えつつ継続実施する。学校の設備を使用せず、公園等にて何も無い場所で一から炊き出し他可能かやってみる価値あり。又、傷の手当他、身近にある品物を応用し、簡単に出来る方法等も織り込んでの実施としたい。

平成31年4月30日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 湯浅 博



記

事業の名称	地域防災体制強化事業（研修会；野島断層見学）
事業実施前の状況	自然の力/恐怖/何が出来る/日頃からの準備等知識不足
事業実施後の状況	見て/知って/感じて、各自とらえ方は異なると思うが、自然のすごさ/脅威を感じ、日頃の心構えが少しは変化したと思える。
事業の効果	今回は初めての取組みであり、参加者数の心配をしたが、関係者の協力の基、関係者が中心となったが、地域住民もご参加いただきまずまずの成功と判断する。参加者各自の経験となり記憶の片隅にでも残れば、いざという時の助けになると期待する。
今後の課題等	現在住んでいる環境（自然状態）に応じた、体験が急務と考える。 ・土砂災害他 各地域にある施設を見学し、疑似体験を多く積み重ね、豊富な経験として記憶し、いざという時に役立たせるよう、地域住民により多くの参加を促す工夫を検討課題とする。

平成31年 4月 30日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

会長名 湯浅博



記


以上

事業の名称	地域内会館備品整備事業
事業実施前の状況	コピー印刷機が地域内のボランティア団体に 効力がなく使用に費用、時間とも軽減出来ていない 5年経過して、今年度に入ってから修理も増え 困っている
事業実施後の状況	新しい印刷機が入り、おかげでコピー印刷 出来、各団体とも、20-21の資料関係の ついては活用しているとの事
事業の効果	各団体の印刷費用、時間とも軽減され より活発に活動に出来ている
今後の課題等	設置場所の2階廊下は印刷音の他の 部屋に響き、使用者からクレームが来ること あり、廊下は夏は暑く冬は寒いので 使用者が困っている

2018年11月30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
代表者名 湯浅 博 

記

事業の名称	地域行事等活動促進事業(納涼会)
事業実施前の状況	今年には地震等自然災害を経験し、住民の安全・安心・連携性を考え、幅広く呼びかける。各店も照度への依頼も多く、参加者の安全を考えると電気工事が厳しくなっている。
事業実施後の状況	電気設置時、住民の協力参加が多数参加、中学生の参加も大変歓迎された。場内は明るく、大事は事故もなく、25周年記念納涼会が終了した。
事業の効果	各団体のつながり、わか事、丸ごと、校区全体の活動に協力参加の増加がある。
今後の課題等	納涼会を中心のやぐらの老朽化対策と電線ケーブルの点検、照明備品の充実。

平成31年 4月 30日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 湯浅 博 


記

事業の名称	地域イベント備品整備事業
事業実施前の状況	使用しやすかった。小・中学校の机を使用。高さ違いなどがあり使用しづらい。損傷もたくさんできていた。
事業実施後の状況	軽量で子どもも運べたり。使用しやすくなった。清潔感があつてよかった。
事業の効果	地域イベントには必ず使用されるようになり、学校からの借数が減った。
今後の課題等	できるだけ、小・中学校に借用せず、イベント備品として増やして、整えていけること。

平成31年3月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
代表者名 湯浅 博 

記

事業の名称	リサイクル活動事業
事業実施前の状況	キャップ回収容器設置場所の増加、回収量の増加がほしい。
事業実施後の状況	広域の設置場所として福祉センターに大2、小2を設置する。社会福祉協議会さんの協力を得ながら、資源有効のPR、石橋のPRとなった。
事業の効果	コミュニティ活動のPRと共に回収量も昨年に増加。他の部会とのコラボが取り組めた。 (花いっぱい運動)
今後の課題等	回収作業の効率化を図る。

<様式4号>

平成31年 3月 20日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
代表者名 湯浅 博



記

事業の名称	地域美化整備事業
事業実施前の状況	①啓発ポスター破損箇所確認・新規掲示箇所依頼 ②「美しい街づくり」ポスター配布家庭を増やせば ③「花いっぱい運動」小学校と地域の方々のつながりを期待したい
事業実施後の状況	①今年度は、台風・暴風雨の後は被害甚大。破損箇所補修済 ②「美しい街づくり」ポスター配布枚数を前年度より500枚増やした。 ③「花いっぱい運動」で出来上がった。花植えプランターを 保育所・学校・施設・郵便局・交番・街角・公園に贈呈しました。
事業の効果	①環境部員の活躍で、破損箇所全て補修済、見映え良くなった。 ②各家庭の雑草が少なくなり、庭が綺麗になって来た。 ③「花いっぱい運動」は、石橋小学校の児童達と先生方、地域のボランティアの方々の美しい街にの気持ちを大切にしていきます。お配りした所は、世話をしていただき、美しい街になってます。
今後の課題等	①啓発ポスター事業は、継続していきます。 ②「美しい街づくり」ポスター配布も、継続していきます。 ③「花いっぱい運動」と「リサイクル活動事業」との新しい取り組み 回収されたキャップで花いっぱい運動のプランターを作ってもらい 小学校・地域の方々の絆を深めたい。

平成31年 3月 20日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
代表者名 湯浅 博



記

事業の名称	公園整備事業
事業実施前の状況	1)公園遊具前の地面に雨の流れる川のような溝が5・6か所あり 深さ最大8cm・長さ7m出来てる。 2)公園トイレ横石橋保育所前雑草が生い茂っている。 3)花壇の周りには、例年通り大木の実・落葉、剪定だけでは無理 4)花壇は、前年度の花枯れ状態
事業実施後の状況	1)石橋納涼大会前に環境部員とボランティアの方々と公園内の砂で、 埋なおした。 2)約80㎡を芝生を植えた。 3)大木の実・落葉は取り除いた、が解決にはならない、 花壇を別の場所へ移設も、無理(大木問題・日陰等) 4)花壇・プランターに四季の花を植え付けた。 *)公園内の雑草刈りは、月1回実施している。
事業の効果	1)雨降りの状況にもよるが、今年度の様な暴風雨では、修理前よりも 酷くなっている。 2)植え付け後は、良くなった。が今年度の7月酷暑で1/3枯れた。 (週1回の水やりでは酷暑を乗り越えられなかった。) 4)花壇・プランター共に綺麗に咲き誇ってます。 (週4回の水やりが、酷暑を乗り越えた。部員の努力のおかげ)
今後の課題等	1)公園内の砂では駄目です。凹の箇所に土を入れます。 2)5期目の芝生の植え付けに、躊躇するが、1期～4期までの効果を見れば、 月1回の雑草刈りでは無理の為芝生の植付続行します。 4)花壇・プランター共に花の数を増やして行きたい。 *)水やり問題点 花壇の水やりは、短時間(20分以内) 芝生の水やりは、長時間(1時間以上)夏場は体力の問題 地域住民の方の協力を依頼することが必要

平成31年4月30日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 湯浅 博



記

事業の名称	交通安全モラル啓発事業
事業実施前の状況	自転車も軽車両であるという認識も乏しく、標識の見方及び自転車の正しい操作方法等知識不足である。
事業実施後の状況	幾分か理解できたと思われるが、当日だけであり、翌日以降実施できているかと言うと定かではない。継続訓練が必要である。
事業の効果	即効性は無いが、毎回実施することが必要と考える。又、子供達だけではなく、家族全員の協力が必要であり、特に指導しなければいけない両親（特に母親）、おじいちゃん/おばあちゃんの運転マナーの悪さが目につく。及び保険の重要性。
今後の課題等	子供達を中心に継続実施はするが、指導者である両親・おばあちゃん及びおじいちゃんへの指導が急務と思われる。他、保険への加入促進、並びに自転車の点検等地域の自転車店様のご協力の基、展開が必要である。集客力に課題有、自転車だけでなく、交通安全ということで、バトカー/白バイ/スタントマンによる事故再現等の協力支援を考えたい。

2018年 10月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
会長名 湯浅 博



記

事業の名称	石橋小学校備品整備事業
事業実施前の状況	市民運動会で毎年、石橋小学校から借用して紅白玉入れ競技を行っているが破損、汚れが目立ち使用不能の意見が多く寄せられていた
事業実施後の状況	紅白玉が新調され、小学校と市民運動会に使用することが出来た
事業の効果	地域コミュニティの協力で紅白玉が新調されて学校、PTA、児童も大喜びで、以後の依頼事等や交流がスムーズに進んでいる
今後の課題	学校の備品類もかなり古くなっており、地域で協力して整え相互に交流を深めて、子ども達の育成を見守りたい

以上

2018年 10月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会
 会長名 湯浅 博



記

事業の名称	三世代交流事業
事業実施前の状況	子ども会、PTA、地域の人（校区内にあるボランティア団体）は各々の活動で協働で活動する機会が少なく交友が少なかった。
事業実施後の状況	子ども達や若い保護者、地域の人達、高齢者住民が準備会議や事前準備、当日の運営を手助けする機会が増え顔馴染みになり、子ども達に住民の声掛けを容易にし、挨拶する光景が増えた。
事業の効果	交流事業の認知度が上がり多くの人から協力の申し出があり、多くの人に参加して頂き、美味しく、楽しく、可笑しく、参加者全員が楽しい時間が過ぎた、今後も継続的に開催して欲しいとの要望する声が多くあった。
今後の課題	現在実施月の天候、気候が難しく、実施判断、材料購入等に思案することが難しく次回実施会議で検討する。 時間工程に中弛みに工夫したがより充実を図り、より家族ぐるみで参加出来る事業内容としたい。

以上